

MDJ プレスリリース



MEDICAL FAIR INDIA 2013

ファイナルレポート

過去最多、7,600名以上のビジターを集め開催。インドにおけるNo.1医療機器展

19回目となる MEDICAL FAIR INDIA が 2013 年 3 月 8 日～10 日まで、ニューデリーの見本市会場、プラガティ・マイダンで開催された。

同展は医療機器をはじめ、検査機器、関連部材、介護機器などを展示するインド No.1 専門見本市で、MEDICA を主催するメッセ・デュッセルドルフ及び、その子会社であるメッセ・デュッセルドルフ・インドアの共催である。

今回の出展者は日本を含む 21 カ国より 410 社、展示面積 4,704 m²、ビジター数 7,600 名以上と過去最大規模での開催を成功裏に終えた（前回 2012 年実績（ムンバイ）：出展 17 カ国より 323 社、ビジター数 6,721 名）。

経済発展が進み巨大な人口を抱えるインド、とりわけ急成長している医療、健康分野を扱う MEDICAL FAIR INDIA 2013 には、開催地のニューデリーを中心に、インド人バイヤーや病院関係者が多数来場し、海外やインドの出展社との商談、面談を行った。ビジターのおよそ 56%は経営者層だった。

MEDICAL FAIR INDIA のスポンサーであり、インド各地で病院経営をする Fortis Healthcare 社の CEO は、会期初日の開会式でスピーチし、インドの医療機器・製品マーケットが近年 15%増加していると語り、今回の展示会がインドの同マーケットの発展に寄与することに期待を寄せた。



今回の同展も、展示面積、出展者数、ビジター数が継続的に増加し、インドの医療機器・製品マーケットでの最も重要な展示会として、その確立された地位をさらに強化した。

併せて、日本、ドイツ、イタリア、フランス、米国、中国、韓国、マレーシアおよび台湾のナショナル・パビリオンが設置され、国際性の高さも示された。この点について、主催者、メッセ・デュッセルドルフの CEO、ドーンシャイトは各国の政府系団体や業界団体への謝意を述べるとともに、開催 40 年を超える MEDICA の経験が同展にも反映されていると挨拶した。

実際に MEDICAL FAIR INDIA 2013 を訪問したインド人バイヤーや病院関係者は、インドの医療機器のみならず、21 カ国から出展された最新の医療機器・製品、リハビリ製品などを会場で視察し、興味のある製品に関して出展者と商談を行う姿が多数の出展ブースで見られた。

日本からも日本貿易振興機構（ジェトロ）が昨年に引き続きジャパン・パビリオンを設置し、MEDICA 出展者でもある株式会社京都科学をはじめ、第一医科株式会社、株式会社ムラコ・メディカル、チェスト株式会社、フジモリ産業株式会社が出展参加した。その他にもオリイメック株式会社、興国インテック株式会社、株式会社エー・アンド・デイ、コニカミノルタ株式会社、オムロン株式会社、株式会社タニタが単独出展し、質の高い日本製品をインド市場に向け PR した。

今回のジャパン・パビリオン設置に関し、ジェトロは次のようにコメントしている。



「手応えを感じた前回の出展に引き続き、今回もジェトロではジャパン・パビリオンを設置しました。5社の中小企業での参加でしたが、3日間の会期中に300を超える商談を持つことができました。インド医療機器マーケットへの日本企業参入は、価格競争などにより簡単ではありませんが、適正な製品であれば可能性はあると考えています。継続が大切なので来年も参加の予定です」

次回、2014年のMEDICAL FAIR INDIAはムンバイにて3月14日から16日の日程で開催される（会場：Bombay Exhibition Centre）。

MEDICAL FAIR INDIA 公式サイト：<http://www.medicalfair-india.com>

その他、MEDICA 主催・共催のメディカル・フェア：<http://www.world-of-medica.com>

（株）メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン

担当：服部

〒104-0094 東京都千代田区紀尾井町 4-1 ニューオータニガーデンコート 7F

Tel.03-5210-9951 Fax.03-5210-9959 /

mdj@messe-dus.co.jp www.messe-dus.co.jp